

# 歌で大館の魅力を伝えたい――

ふるさとを

愛するSINGER

# ダックスムーン

きりたんぼ鍋の季節になると、スーパーの食品コーナーでよく耳にする「きりたんぼ物語」。皆さんにも馴染みの歌ではないでしょうか。この歌を歌っているのがダックスムーンです。私がダックスムーンを知ったきっかけは、ラジオで「きりたんぼ物語」を聴いたのが最初でした。軽快なリズムにのって流れる曲にいつの間にか心地良さを感じ好きになっていました。

今年2月に「ハチ公物語・おこう物語」をリリース、大館市を言め県内各地をテーマに曲を作り、音楽を通して地域を活気付けようと積極的に活動している姿に感銘を受け、もっと多くのかたにダックスムーンを知ってもらいたく取材を行いました。

Ducks木村こと、木村孝明さん。主に作曲、サブボーカル担当。ギター以外にピアノを弾く姿もニクイ。



広報  
市民リポーター  
だより

No. 3

丸山 佳孝<sup>たか</sup>さん  
(愛宕町)

Q 音楽を始めたきっかけは？

(三) 学生時代は音楽の成績はなんと「2」。かぐや姫の「神田川」が転機になったのかな……。その頃友達にギターを弾いていて、それがきっかけでギターを始めたんです。当時はアップルパイというバンド名で、ボーカル・ギター担当でした。

(木) 小学4年生の時に、兄が飽きて置いていたギターをオモチャにして遊んだのがきっかけです。当時は吉田拓郎とか井上陽水が盛んで真似していましたが、もともとピートルズの曲が弾きたかったんです。

(三) だから、良く曲がフォーク調だと言われますが、ピートルズの香りがするのはそのせいかな!!

Q お互いが知り合ったきっかけは？

(木) 20数年前は、商工会館や労働会館を会場に色々なグループが集まってコンサートを開いていたものです。そこで知り合っって意気投合し、いつか一緒にやろうと話をしていたんです。

(三) 2人の初めての共同作業は、N

HKのサウンドコンテストへの出場でした(笑)。

(木) 試しに2人でテープに吹き込んで出してみたら、県大会でグランプリを受賞してしまいました。結果が良かったので、そこで初めて本格的に活動しようということになりました。

Q お互いのどこに引かれましたか？

(木) 最初は別々のグループで活動していて、その時から三浦さんの作詩や歌唱力に引かれていました。私は作曲やハモリが担当だったので、ちょうどお互いの無い部分を補える最高の形が作れたんです。

Q プロのスカウトを断って地元大館での活動を選んだそうですが、その活動の手応えはどう感じていますか？

(木) プロだと制約があるので、自由に好きな音楽を、好きな形でやるために大館での活動を選びました。そして地元でやるからには郷土を愛する歌を作って歌っていきたいと思いました。